

【評価】
1. 順調
2. ほぼ順調
3. 課題あり

No.	目標	事業名【担当課】	事業目的	R4年度事業内容	予算額	執行額	重要業務評価指標 (KPI)	R3実績値	R4実績値	達成率 (R4)	目標の進捗状況	今後の達成見込み	評価	推進会議での意見
1	雇用創出	企業誘致の促進【まちづくり政策課】	町内への進出を希望する企業や、事業用地を求めている企業に対し、訪問して情報を提供した上で、雇用促進奨励金事業の活用も考慮しながら誘致につながる取組を推進する。また、国産ドローン製造メーカーへの補助等についても検討を進めていく。	宮城県や金融機関との連携により小売業や運送業、農業参入企業等への事業用地提案を行ったほか、町内企業への訪問を随時実施し、情報収集を行った。	379	372	企業訪問数 令和6年度までに年間35事業以上(令和4年度実績14社)	企業訪問数 3社	企業訪問数 14社	40.00%	町内外企業への訪問件数は14件となった。また、現地視察の対応やWEBでの面談などを行った。	企業訪問等により新規企業の誘致や既立地企業においても積極的に情報収集や制度の周知のため訪問やWEBを活用した面談を積極的に行うことで達成できる見込みです。	2.00	別紙1に全事業記載しています。
2	雇用創出	就農支援事業【農政商工課】	町内に居住している、または今後居住することが見込まれる農業で生計を立てようとする女性、及びその女性を雇用しようとする法人を支援することで、女性就農者の確保、農業所得の向上、移住・定住を促進する。	・令和4年度について、町内法人等へ聞き取りによる対象者の調査を行ったが、対象となる女性新規就農者がいなかった。	5,389	0	女性就農希望者への就農相談件数 令和6年度までに年間2人	0人	0人	0.00%	大郷町農業振興総合補助金について、町内各農業生産法人へ概要説明及び相談を行った。また、地域おこし協力隊についての説明を行った。	関係機関（県農業改良普及センター、JA、町等）が連携して相談及び支援体制を構築し、広報紙や町ホームページ等で広く周知するとともに、町内農業生産法人等に対し雇用計画の調査等を実施する。	2.63	
3	移住定住	空き地空き家活用移住促進事業【まちづくり政策課】	町民や町外在住の物件所有者から空き地空き家の登録を募り、空き地空き家の利用を希望する人に物件情報を提供することで移住定住の促進を図る。併せて、空き家財道具等処分費用助成により空き家バンクへの登録を促す。	1. 空き地・空き家バンク (1)相談数：46件 (2)登録数：空き地5件、空き家0件 (3)利用登録者数：17名 (4)現地案内：13件 (5)空き地契約成立件数：2件 空き家契約成立件数：1件 (6)制度の周知及び空き家情報の提供：ホームページ掲載(随時更新)・広報 2. 住宅リフォーム助成金 1,732千円 町内業者が施工する持ち家または賃貸借した空き家の改修費の5分の1を助成 (1)助成数15件 町内居住者(限度額10万円) 13件 町内居住者で18歳未満の扶養親族がいる者(限度額30万円) 2件 町外居住者が空き家等を購入または賃借して転入する者(限度額50万円) 0件 (2)住宅リフォーム助成制度の周知：ホームページ掲載・広報 3. 空き家財道具等処分費用助成事業 助成金交付 0件 4. ホームページ掲載(随時更新)	2,597	1,770	空き地空き家バンク活用による移住世帯数 令和2年度～令和6年度までの延べ数 8世帯 (平成28年～令和1年までの実績延べ7世帯)	4世帯	0世帯	0.00%	空き地・空き家バンク相談件数は46件、空き地契約件数は2件、空き家契約件数は1件、住宅リフォーム助成数は15件	空き地・空き家バンクが周知されていることもあり、46件の相談があった。住宅リフォーム助成を活用と民間事業者との連携による空き家の更なる利活用推進により達成できる見込みです。	1.75	
4	移住定住	住宅取得支援事業【まちづくり政策課】	町内及び町外居住者で、町分譲地及び民間分譲地を取得し、分譲地取得後2年以内に住宅を建築する者又は、建売住宅を購入するもので、18歳未満の子どもが同居する者等に補助金を交付し、町内への移住・定住を促進する。	住宅取得支援事業補助金について、町分譲地(原団地)取得者5件、民間分譲地(けやき坂)取得者5件の補助金を交付した。	2,300	2,300	住宅取得支援事業の対象者数 令和2年度～令和6年度の延べ数 50人 (平成28年度～令和元年度の延べ数56人)	23人(7世帯)	29人(10世帯)	148.00%	令和4年度上期で目標を達成した。	民間事業者による宅地造成も計画されているため、更なる定住促進が図れる。	1.13	
5	移住定住	地域おこし協力隊受入事業【まちづくり政策課】	町外の意欲ある若い人材を誘致し、移住して農業、観光、移住・定住等に関する職務に従事することで地域の活性化を図る。また、大郷町のPRに積極的に取り組んでもらうことで、本町のイメージアップを図る。	1. 令和4年度の隊員数 2名 2. 受入先法人 合同会社にしホースパーク 1名(令和3年4月から活動) 株式会社ラトリエ 1名(令和4年9月から活動) 3. 主な活動内容等 受入先法人での馬を活用した地域振興や農業体験を通じた農業振興、商品開発等	6,483	6,342	地域おこし協力隊受入の情報発信件数 令和2年度～6年度の延べ数 400回 (令和元年度の実績件数 45回)	144 (広報：10 SNS：134)	134 (広報：12 SNS：122)	80.00%	令和5年3月末で322件、令和5年度もSNS等による発信を継続すれば達成可能。	今後も複数のツールを使用し、情報発信を行う。	1.75	
6	移住定住	「道の駅おさと」運営強化事業【農政商工課】	魅力ある商品のラインアップづくりと、新鮮野菜の供給を毎日行うことで「道の駅おさと」の活性化を図り、交流人口の増加、及びインターネット等を利用した販路の拡大と安定した売り上げを目標とする。	新型コロナウイルス感染症や物価高等の影響があったが、新鮮な地場産品を揃え、新商品や期間限定商品の提供、レストランではメニューの一部を更新する等、利用者を飽きさせない工夫をしてきた。また、モロヘイヤを使用したお菓子を関係事業所と開発し商品化するなど、大郷町の特産を活用した商品開発を行った。販売している商品やイベント開催について、SNSやテレビ、新聞を活用した情報発信を行い、交流人口の増加を目指した。	20,478	13,341	道の駅おさとの売上 令和6年度までに年間売上 450,000,000円	411,338,713円	449,228,777円	99.83%	令和4年度もコロナ禍ではあったが、何度か来なくなる店づくりを心がけながら商品の提供を行うことで、交流人口の増加につながった。また、道の駅敷地を利用したイベントの開催で相乗効果が見られた。インターネット販売などの販路拡大までは進めなかったが、売上は増加している。	商品情報等の発信を行いながら、通信販売に適している商品や大郷ならではの商品を開発し、インターネットを活用した販路拡大を行うことで、売上達成が増加し目標達成が見込まれる。	1.00	

【評価】
1. 順調
2. ほぼ順調
3. 課題あり

No.	目標	事業名【担当課】	事業目的	R4年度事業内容	予算額	執行額	重要業務評価指標 (KPI)	R3実績値	R4実績値	達成率 (R4)	目標の進捗状況	今後の達成見込み	評価	推進会議での意見
7	移住定住	緑の郷活性化事業【農政商工課】	施設本来の目的であるクラインガルテン事業（農泊）の推進を再構築し、交流人口の増加を図るとともに、新しい働き方のスタイルに応じた環境を整え、利便性を高めることでテレワーク勤務者や町内企業の出張者等による施設利用者の増加を図る。	新型コロナウイルス感染症の影響で観光事業が低迷する中ではあったが、レストランでは月替わりメニューの提供や、メディアを利用した情報発信を行い、リピーターを増やす工夫をしてきた。また、芋ほり体験のほか、モロヘイヤ摘み取り体験や落花生収穫体験など、大郷町ならではの農業体験メニューを取り入れ、観光メニューの更新を図った。	13,056	8,906	バストラル緑の郷年間入込客数 令和6年度まで年間21,000人	4,799人	11,021人	113.46%	新型コロナウイルス感染症の流行や地震による建物被害等の影響を受けたが、宿泊者、レストラン、農業体験ともに入込客数が増加した。特に農業体験の集客は著しく、交流人口の増加につながった。テレワーク勤務者や町内企業の出張者等による利用増加を目指し、今後、施設の修繕・改修について進めていく。	新型コロナによる観光事業の変化やニーズが定着化し、今後、観光客やインバウンド旅行者が全国的に増加する見込みがある。緑の郷でも農業などの体験メニューと宿泊・食事をかけ合わせた新しい観光コンテンツについて、関係事業者と連携を図りながら商品化することで、さらに利用者が増えると考えられる。また、令和6年度から開始予定のテレワーク施設としての運営方法を明確化し、交流人口の増加を目指す。	2.13	
8	移住定住	情報発信強化事業【総務課】	地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）で整備したスマートフォン用WEBサイトを活用し、移住促進や子育て支援、イベント等の若者世代のニーズに対応した生活情報を提供するとともに、大郷町の魅力を町内外に向けてPRする。	ホームページの運営	2,191	2,191	HPアクセス数を500件/日	・7ヶ所数：464件/日 ※総数：169,250件	・7ヶ所数：495件/日 ※総数：180,526件	99.00%	HPアクセス数1日あたり約500件程度	HPアクセス数1日あたり平均600件程度	1.38	
9	結婚出産子育て	結婚応援事業【まちづくり政策課】	1年成婚事業への登録者や、婚活イベントに参加した町内在住の独身者に対して助成金等の支援を行い、婚活を応援する。	HPに本制度に関する情報を常時掲載するとともに、広報紙にも掲載し周知を図った。	1,846	1,314	婚活情報の情報発信件数 令和6年度までに年間発信件数20回 (令和4年度の実施件数 34回)	情報発信件数 20件	情報発信件数 34件	170.00%	町ホームページや広報おさと、新聞折込、SNS等を活用し、制度の周知を行った。	今後も町単独の婚活イベントや各事業の周知活動を継続的にを行い、利用者の増加を図る。	1.75	
10	結婚出産子育て	すこやか子育て医療費助成事業【町民課】	子育て家庭の経済的負担の軽減と、子どもの適正な医療機会を確保するため、子ども医療費の助成範囲を、現在の15歳に到達する日の年度末から、18歳に到達する日の年度末まで拡大する。	平成28年4月1日から、すこやか子育て医療費助成事業対象者を18歳到達年度末まで拡大した。 ・すこやか子育て医療費助成対象者 1,067人	28,041	27,861	対象者への支給率100%の維持 令和6年度まで100%を維持 (令和2年度の実績 100%)	100%	100%	100.00%	年度 対象者数 支給率 R02 1,121人 100% R03 1,101人 100% R04 1,067人 100% R05 (見込) 1,050人 100% (対象者数は年度末人数)	毎年度100%を達成している。	1.13	
11	結婚出産子育て	国民健康保険子育て支援補助金交付事業【町民課】	大郷町国民健康保険に加入している18歳未満の被保険者がいる子育て世帯に対して、負担の軽減並びに子育て支援を図る。	令和3年度中に大郷町国民健康保険に加入している18歳未満の被保険者がいる世帯に対して、均等割相当額を補助金として交付した。	2,546	2,515	対象者への交付率100%の維持 令和6年度まで100%を維持 (令和2年度の実績 100%)	93.0%	99.0%	99.00%	対象児童のいる世帯 91世帯 対象世帯数 83世帯 (令和4年5月31日までに保険税を完納した世帯) 交付世帯数 82世帯 交付率 99%	制度の周知徹底を図るとともに、対象者に申請勧奨をすることで、100%の交付率を達成できる見込み。	1.13	
12	結婚出産子育て	不妊治療助成事業【町民課】	不妊治療のうち、特定不妊治療を受けている夫婦の経済的負担を軽減するため、特定不妊治療費の助成を行う。	令和4年4月1日より特定不妊治療が保険適用となった。県事業において、助成終了に向けた移行期間として助成回数が増えられたことに伴い、大郷町においても同様に変更した。ホームページ、LINE、広報誌で周知した。実1件、延1件の申請があり、助成した。又、個別に相談があった場合に対応した。	600	150	特定不妊治療助成事業の情報発信件数 令和6年度までに年間発信件数18回 (令和4年度実績年間発信件数16回)	15回(ホームページ、LINE2回、広報誌12回)	16回(ホームページ、LINE3回、広報誌12回)	88.89%	R4は、LINEによる周知回数を2回から3回に増やした。	無：令和4年度で事業終了	1.75	

【評価】
1. 順調
2. ほぼ順調
3. 課題あり

No.	目標	事業名【担当課】	事業目的	R4年度事業内容	予算額	執行額	重要業務評価指標 (KPI)	R3実績値	R4実績値	達成率 (R4)	目標の進捗状況	今後の達成見込み	評価	推進会議での意見
13	住み続けたいまち	公共交通再構築事業【まちづくり政策課】	本町唯一の公共交通である住民バスについて、交通弱者等の移動手段としての充実を図ることを含め、多様化するニーズに対応するため、検討組織の立ち上げ、利用者アンケート、データ収集・分析等に基づき、地域特性と費用対効果を踏まえた、より効果的で効率的な運行体系の再構築を図る。また、町内デマンドタクシー及び町外買い物バス(ワゴン車)や、タクシー券の助成についても検討を進める。	住民バスの運行 ・運行路線数：8路線 ・運行日数：239日(R5年3月末現在) ・乗車人数：41,248人(R5年3月末現在)	42,020	40,785	住民バスの乗車人数 令和6年度までに年間乗車人数 50,000人 (令和4年度の年間乗車人数 41,248人)	44,942人	41,248人	82.50%	利用者数については41,248人の乗車があり、令和3年度実績と比べて3,700人程度減少した。依然として通学の足として利用されている比率が高い一方で、新型コロナウイルス感染拡大による休校等の影響はなかったが、少子化の影響は今後も大きく作用するものと思われる。	全体的な推移としては学生数の減少に比例して利用者数も減少傾向にあるといえる。引き続きデータ収集と分析に基づいて、運行体系の効率化を図りたい。また、検討が始まった黒川圏域の広域交通についても、域内での効果的な運行について模索していきたい。	1.75	
14	住み続けたいまち	大郷町国民健康保険各種検診料助成事業【町民課】	大郷町国民健康保険に加入している者の健康保持及び増進並びに疾病の早期発見・早期治療に資するため、各種検診対象者に検診料の一部を助成し、健康でいきいきと暮らせる町を目指す。	町が主催する各種がん検診等の受診者のうち、大郷町国民健康保険の被保険者、延べ1,592名の受診分について、国民健康保険特別会計から一般会計へ助成金を交付し、受診時の自己負担額を軽減した。	2,504	2,503	町主催のがん検診(助成対象分の検診)受診率 令和6年度までに平均受診率 23%の達成 (令和4年度の平均受診率 15%)	15%	15%	65.22%	胃がん検診 329人 乳がん検診 128人 子宮がん検診 256人 腹部超音波検診 256人 大腸がん検診 494人 前立腺がん検診 107人 若世代健診 22人	令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり受診率は低下したが、今後の受診率はコロナ化前と同様と見込まれる。	2.00	
15	住み続けたいまち	ふるさと納税制度のPR事業【財政課】	町ホームページや内閣府ホームページ上に町の情報を掲載する他、返礼品の品数アップを図る等大郷の魅力、特産品のPRを積極的に行うことでふるさと納税額のアップを目指す。	町のホームページや、ふるさと納税サイトを通して寄附を募り、大郷町の特産物の良さを全国に発信することができた。 (令和4年度はふるさと納税サイト6サイト、返礼品114品、事業者16者)	31,044	26,654	企業版ふるさと納税額 令和6年度までの累計納税額 250,000,000円	3,000,000	3,800,000	1.52%	令和4年度は2者からの企業版ふるさと納税の寄附があった。 令和5年1月から企業版ふるさと納税も業務委託を活用し、PRの機会を増やした。	企業版ふるさと納税ポータルサイトの活用、大郷町のさらなる発展につなげられるようなカット事業で寄附を募り、目標達成に少しでも近づけたい。	2.13	
16	住み続けたいまち	防犯灯LED化事業【総務課】	防犯灯をLED化することで、夜間における視認性を向上させ、交通事故及び犯罪の発生を防止する。	故障した防犯灯を26箇所LED灯に修繕した。また、宮城県環境交付金を活用し、蛍光灯若しくは水銀灯の防犯灯を26箇所LED灯へ交換した。	1,320	1,302	防犯灯LED率 令和6年度までに更新達成率 100% (令和4年度までの更新達成率 94.6%)	88.1%	94.6%	94.60%	全体で859基の防犯灯が稼働しており、813基がLED灯を使用している状況である。(令和5年4月1日時点)	防犯灯LED化事業は宮城県の環境交付金を活用しながら行っているため、交付金の額に左右されるが、修繕と並行してLED化を進めているため、令和5年度には100%を達成できる見込みである。	1.50	

令和4年度まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議_意見・評価集計表

【評価判定：1.順調 2.ほぼ順調 3.課題あり】

個数 / 事業番号	評価			
	1	2	3	
事業別意見等				
1				
企業誘致の促進	2	4	2	2.00
コロナが令和5年5月から5類に移行した。企業をとりまく環境は人手不足や原材料の高騰など厳しい状況にある。企業の現況やニーズを把握するため、積極的な企業訪問を実施していただきたい。 どんどん企業が増えて、税収入も増えると大郷町も潤いますね。			1	
企業訪問が目的ではなく、最終的な目的は企業の誘致であり、1企業でもいいので誘致につながる方策を検討してみてはどうか。雇用確保と就業者数の増加につながるの。 企業訪問数が年間35事業所以上とあるが、令和5年度見込みが15社と半分も訪問できていない。	1			
新規企業の誘致の為、町外企業へのPRをステップアップさせるのも良いのでは？		1		
(空白)	1	2		
2				
就農支援事業		3	5	2.63
これは難しいと思います。農業に魅力がないからです。自家製野菜を使った古民家レストランとかやる方が増えればいいですね。			1	
女性にこだわる意味がわからない。			1	
女性新規就農者の実績が無いことに対し、企業側とタイアップ等行い県内高卒者にアプローチするのも良いのでは？			1	
町内に参入した農業法人が豪雨で大きな被害を受けるなど、当初想定していない状況になっているが、引き続き農業法人等と情報交換しながら就農希望者の掘り起こしを図っていただきたい。宮城県全体ではR3を除くと新規就農者は増加傾向にある。			1	
(空白)		3	1	
3				
空き地空き家活用移住促進事業	3	4	1	1.75
町内、空き家が多いですね。あまり古くないところは町内の大工さんなどと提携し、リフォームして賃貸や売却して、移住者が増えるといいですね。		1		
(空白)	3	3	1	
4				
住宅取得支援事業	7	1		1.13
(空白)	7	1		
5				
地域おこし協力隊受入事業	2	6		1.75
KPIが地域おこし協力隊受入れの情報発信件数であるため、協力隊受け入れによる地域振興等に係る効果が分かりにくい。また、任期終了後町内への定着が0人であることから、町内定着に向けてのサポートも推進していただきたい。		1		
地域協力隊の任期が終了したら、町外へ転出して、寂しいですね～。法人化している生産農家に就職とかの話もなかったのでしょうか？それとも、違う場所でもそのような仕事をしたかったのでしょうか？		1		
(空白)	2	4		

個数 / 事業番号	事業別意見等	評価			
		1	2	3	
6	「道の駅おおさと」運営強化事業 かなり厳しい部署があるが、全体的には良い。	8			1.00
	昨年度の評価シートと比較すると実績が上方修正されている。コロナが5類に移行し、観光も活発化していることから、現在の売り上げを維持・向上するよう、PRや商品開発などの取り組みを期待している。	1			
	米どころを生かして、今ブームの手作りおにぎりコーナーがあってもよいのでは？高級食パンもブームが去り、今はおにぎり店がどんどんオープンしています。ぜひ行列ができるほどのおにぎり屋さんをオープンしてはどうでしょう？	1			
	(空白)	5			
7	緑の郷活性化事業	2	3	3	2.13
	R3とR4を比較すると、目標には至っていないが利用者が増加していることは評価できる。更に、体験メニューの検討やPRなどを行えば、利用者が増加するのではないか。			1	
	大自然を生かしたアスレチックや、キャンプ場を作ってはどうか？		1		
	令和5年度の見込人数が15,000人で計画しているが緑の郷は赤字に成る。			1	
	令和5年度見込みが15,000人になっているが、目標達成にはイベントの開催等検討が必要と思われる。(道路の整備も必要だと思います。)			1	
	(空白)	2	2		
8	情報発信強化事業	5	3		1.38
	(空白)	5	3		
9	結婚応援事業	3	4	1	1.75
	これは、いくら町がお膳立てしても、結婚に興味ない方が多いので、そんなに役場の方がPRしても無駄だと思います。そのために役場の方が仕事の時間を使うのはもったいないです。			1	
	結婚までの成果は？多様性の時代、「公」での婚活非介入も検討すべきでは？	1			
	少子高齢化対策として県や市町村でも結婚や子育て支援など様々な施策を実施している。県の事業とも連携しながら進めていただきたい。		1		
	(空白)	2	3		
10	すこやか子育て医療費助成事業(拡充)	7	1		1.13
	町内に小児科があるといいですね。子供が風邪をひいたら、隣町までいかないといけないのは不便です。町議選挙でも子育てしやすいまちづくりと皆さんがいらっしゃいますが、まずは小児科だと思います。	1			
	(空白)	6	1		
11	国民健康保険子育て支援補助金交付事業	7	1		1.13
	(空白)	7	1		

個数 / 事業番号	事業別意見等	評価			
		1	2	3	
12	不妊治療助成事業	3	4	1	1.75
	該当者しかわからないことですね。不妊に悩んでいる方はぜひ活用してほしいです。		1		
	国の事業により活動を終了できてよかったと思います。	1			
	令和5年度見込み無し。今後の達成見込みも無しでは事業が停止している。			1	
	(空白)	2	3		
13	公共交通再構築事業	3	4	1	1.75
	運転手の確保が大変なので、他のサービスへの移行が必要かと思えます。			1	
	交通弱者対策として、公共交通の維持は重要である。町民のニーズを把握しながら、利用しやすい公共交通の維持を図っていただきたい。		1		
	住民バス以外にデマンドタクシーが活用されている。住民バスの小型化も必要である。	1			
	少子化、過疎化で住民バスの利用者がかなり減少しています。朝夕はバスでいいですが、燃料高騰もあり、昼間はワゴン車、ふれあい号の運用でよいと思います。	1			
	(空白)	1	3		
14	大郷町国民健康保険各種検診料助成事業	2	4	2	2.00
	コロナ化前からの増加が見込めていないとなれば、何か対策が必要ではないでしょうか。(人口の減少を伴うものなら仕方ないと思います。)			1	
	時期が農業に被るので変えてほしい。			1	
	(空白)	2	4		
15	ふるさと納税制度のPR事業	2	3	3	2.13
	PR不足。魅力のある返礼品が必要。			1	
	金融機関との連携も有りでは？紹介できる提携先は御座います。			1	
	実績値が目標を大幅に下回っており、また、KPIの達成率も令和3年度で1.2%と低迷している。			1	
	(空白)	2	3		
16	防犯灯LED化事業	5	2	1	1.50
	中村地区の一部は明るいけれど、その他の地域は暗すぎます。他町村から夜に通る人などは、大郷町暗くて怖かったといわれました。街灯を増やしてほしい			1	
	(空白)	5	2		